別記様式五

秘　統計法に基づく基幹統計調査

国民生活基礎調査【貯蓄票】

厚生労働省

（平成22年７月15日調査）

調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	

＜記入上の注意＞
・『（貯蓄票）記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
・世帯主だけでなく世帯員全員の貯蓄、借入金の合計を記入してください。
・ここでいう貯蓄・借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。
秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

世帯主又は世帯を代表する方がお答えください。

質問１　あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか（**平成22年６月末日現在**）。
あてはまる番号に○をつけ、貯蓄がある場合は、(1)～(4)の合計貯蓄現在高を記入してください。

(1) ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金（預金）（通常貯金・普通預金、定額・定期貯金（預金）、積立貯金（預金）、当座預金等）　　1 有　2 無

(2) **生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料**（掛け捨ての保険は除きます。）
【計算例】
・月々の払込み額×12（か月）×これまでに払込んだ年数
・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数　　1 有　2 無

(3) 株式・株式投資信託（時価）
債券（額面）、公社債投資信託（時価）
金銭信託・貸付信託（額面）　※時価は6月末日で計算　　1 有　2 無

(4) その他の預貯金（財形貯蓄、社内預金等）　　1 有　2 無

合計貯蓄現在高　　万円（億　千　百　十　一）

質問２　あなたの世帯の貯蓄現在高は**昨年（平成21年６月末日）**と比べて変わりましたか。
あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。

1 増えた
2 変わらない
3 減った → 減少額　　万円（億　千　百　十　一）

→ **あてはまるすべての**理由の番号に○をつけてください。

1 日常の生活費への支出
2 土地・住宅の購入費
3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
4 株式等の評価額の減少
5 その他

質問３　あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか（**平成22年６月末日現在**）。
あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。

1 借入金あり → 合計借入金残高　　万円（億　千　百　十　一）
2 借入金なし

ご協力ありがとうございました。